

## 『嫌われる勇気』 岸見一郎先生 哲学者訪問(「作家訪問」第10回)を実施しました!

◆2023年7月14日(金)の放課後、東京都立成瀬高等学校図書委員会は、今年も「作家訪問」を図書室にてオンライン(Zoom)で実施しました。記念すべき第10回目となる今回、インタビューを快諾してくださったのは、作家ならぬ“哲学者”の岸見一郎先生! 哲学や心理学は本校で人気のジャンルで、岸見先生の『嫌われる勇気』(古賀史健氏との共著、ダイヤモンド社)も貸出ランキングを賑わせた本です。

参加生徒は図書委員を中心に12名。連日の猛暑のためか、体調不良者が出て、始まりがやや慌ただしくなるというハプニングを乗り越え、司会役の生徒の進行で50分にわたり行われました。岸見先生のお話は深いと同時に高校生にもわかりやすく、質問をした生徒も大変満足した様子でした。このインタビュー記録は、委員会広報誌「木馬」第110号(Web版も発行)に掲載予定です。

【岸見一郎先生プロフィール】哲学者。1956年京都生まれ。高校生の頃から哲学を志す。京都大学大学院文学研究科博士課程満期退学。専門の哲学(西洋古代哲学、特にプラトン哲学)と並行して、1989年からアドラー心理学を研究。



〈オンラインインタビューの様子〉

貴重なお時間を割いて生徒に向き合ってくださいました岸見先生、取り次いでくださいました上に、Zoomのホストも務めてくださったD社のI様、本当にありがとうございました。(司書 池田)